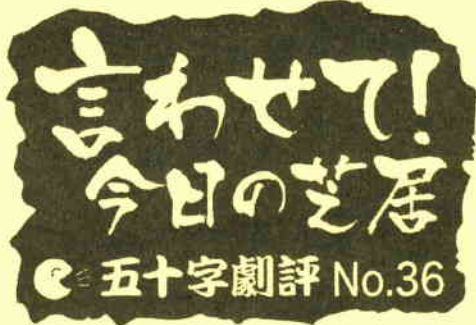


# 八月に乾杯！

俳優座 舞台



## 【三〇代】

▼楽しいことも辛いことも、孤独への寂しさも分かち合える相手がいるって本当に素晴らしい。心にくっつく芝居でした。(女性)

## 【二六〇代】

▼「あなたってかたに、めぐり逢うための人生だったのかしら」という出会いがあるなら、日々を大切に生きたい。(女性)

▼岩崎加根子さんの台詞と表情の一体感によって醸し出される演技

の妙。自然体から発せられる言葉の強弱、抑揚などによる感情表現、見事というしかありません。ふたりだけの台詞劇。しかしそこに込められた、人間とは、人生とは、生きるとは……。このお芝居を観たからこそ、今考えたい。寛容さが失われ、戦争をも厭わない権力が支配する社会で、どう生きていかなければならないのかを。(男性)

▼独り身の私に、此れからの人生に大変大きな作品の一本に成りました。

▼岩崎さん、小笠原さんお二人の演技が素晴らしかった。互いに反発しながらも次第に心を開いていく様子がとてもよく分かった。特に岩崎さん演じるリーダーが心を開いていくと同時に可愛らしく若返っていく演技が凄いなと思う。二人芝居で円熟した演技。そしてゆったりとした間の取り方、次はどんな展開になるのだろうかというワクワク感、なかなか観ることのできない素晴らしい舞台だったと思う。二人が踊る場面は、二人にとって

一生に一度の特別な一日だったに違いない。ロジオン先生のもとに戻ってくるリーダー、この終わり方はいいなあ！(男性)

▼静かに時間が流れる台詞劇のよな舞台、お二人の言葉が一つひとつ染みこんできました。芝居の進行とともに若返っていくリーダーの声に、生きる力がよみがえっていくことを感じました。(男性)

▼いつまでも若さを保つてた二人に乾杯！これからも様々な演劇を観て若さを保ちたい自分にも乾杯！(女性)

▼芝居は、役者と観客が作り上げるとはよく言われることですが、今例会ではそれを目の当たりにしました。夜公演は終演後、会場が明るくなってもしばらく拍手が鳴り止まず、楽屋に引き上げたお二人が舞台上に再登場してくれたのです。今例会運営担当だった私は、会場係として翌日の昼公演も観劇することができました。昨夜に引き続き会場は舞台上に集中していました。しかし、最終盤に差し掛か

ったところで携帯が鳴ったのです。それも二回。終演後は、会場が明るくなると同時に皆、席を立ち退出していきました。私は前日の芝居を観られた幸運に感謝しました。否！幸運は作ることができるとすよね。(女性)

▼人生いろいろな体験をしたからこそ、お互い心が寄りそう機会が来たのだと感じます。年令を重ねることが素晴らしいことだと思いました。(女性)





▼少しわがままでも憎めないリーダと、それをちゃんと受け止めてくれるロジオン先生。心の傷をかかえながらも少しずつ寄り添っていく二人が、とても愛おしく思えました。二人の素敵演技に「乾杯！」。

(女性)

▼お二人がとてもチャーミングで、おしゃれなお芝居でした。(女性)

▼戦争の後、長くつまらない人生を送っていた二人が「生きていくってすばらしい!!」と言える日が来た事に、拍手です。すてきなお芝居でした。

(女性)

▼かねてより岩崎加根子の舞台を観たいと思っていたので、願いが叶って良かった。老練な名優の二人芝居を堪能した。(男性)

▼セリフの芸術を堪能した。俳優の技なる素晴らしさ。単に男女の物語ではなく人間どうしの奥深さを感じた。(女性)

【七〇代】

▼何故リーダは「月の砂漠」を口ずさんでいたのか!! ずっと気になっていました。ロジオンと仲々心が通じないながらも、王子様とお姫様がラクダに乗って旅をすることをお思い描いていたリーダなのか。

(女性)

▼この芝居は、すばらしい人生を送る可能性を閉ざす戦争を許せない、許さないというメッセージだと感じました。(男性)

▼久しぶりに芝居を観たと興奮さめやらず。小粋な、それでいて長く生きてきた人の苦悩も表現され演技もオーバーではなく引き込まれました。演出も音楽の選び方、

衣装、全て納得です。(女性)

▼「素敵あなた」で開演し「シエルブルーの雨傘」「プチ・フルール」と軽やかなジャズ。二人が背負う人生の哀しみは大戦のせい? 劇作家のルーツは? と考えた。(女性)

▼八〇代の俳優さん二人が二時間弱のセリフ芝居、座席が後ろの方なので声が聞こえるのかなーと少々気がかりでしたが、幕開けから私の思っていたことを見事に覆してくれました。どこからあの静かなる声が私の席まで聞こえるのか、さすがプロ中のプロなのですね。また舞台はシンブルなのに場面・場面の風景が見えてくるのがすばらしかったです。久々に感動のお芝居でした。すばらしきお二人に乾杯です。(女性)

【八〇代】

▼八十六歳の私より年上のお二人の軽やかなステップを見て、思わずできるかやってみました。人生の最後まで楽しく生きていきたいです。(女性)

【年代不明】

▼こういう芝居に出会うために市民場にはいつているのだと思う作品でした。最高でしたよ本当に!!

編集スタッフから

上演時間中は、日頃の忙しさや嫌なこと・煩わしいことなどを全て忘れて、芝居に集中していただければと思います。その時間が、「極上の時間」であり「その時だけの特別な時間」だと思います。お芝居の魅力・醍醐味はまさにその所にあるのだと思います。そんなお芝居の面白さを忘れず記憶に残しておくために、劇評集への投稿をよろしく願いますね!

「柳橋物語」の劇評締め切りは

11月22日(金)

座席シール発行最終日です。